

浜の活力再生広域プラン  
令和8～12年度  
(第3期)

## 1 広域水産業再生委員会

組織名	対馬市広域水産業再生委員会
代表者名	船津 博也（佐須奈漁業協同組合 代表理事組合長）

広域委員会の 構成員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対馬地区地域水産業再生委員会（厳原町漁業協同組合、阿須湾漁業協同組合、美津島町高浜漁業協同組合、美津島町西海漁業協同組合、美津島町漁業協同組合、豊玉町漁業協同組合、峰町東部漁業協同組合、上県町漁業協同組合、佐須奈漁業協同組合、上対馬南漁業協同組合、上対馬町漁業協同組合、長崎県対馬市）</li> <li>・長崎県</li> <li>・長崎県漁業協同組合連合会 (令和7年11月時点)</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州信用漁業協同組合連合会</li> <li>・対馬市水産加工連絡協議会</li> </ul>

対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類	<p>長崎県対馬市（厳原町漁協、阿須湾漁協、美津島町高浜漁協、美津島町西海漁協、美津島町漁協、豊玉町漁協、峰町東部漁協、上県町漁協、佐須奈漁協、上対馬南漁協、上対馬町漁協の地区）</p> <p>対象漁業者数：928名</p> <p>漁業の種類：一本釣り、いか釣り、曳縄、延縄、刺網、タコつぼ、銚突、潜水器、採介藻、穴子籠、定置網、シイラ漬、まき網、クロマグロ養殖、その他魚類養殖</p>
---------------------------	---

## 2 地域の現状

## (1) 地域の水産業を取り巻く現状等

<p>対馬は日本海の西に位置し、北は朝鮮海峡を隔てて朝鮮半島に面し、南は対馬海峡を隔てて壱岐島、九州本土に面している国境の島である。</p> <p>漁場は対馬暖流と沿岸流の混合によって変化に富み、その海底地形は、東側はなだらかに傾斜し、西側は急深で海盆等が多く、沿岸地先一帯には磯場が散在し、変化に富んだ好漁場が形成され、イカ類、ブリ類、タイ類、ヨコワ（クロマグロの幼魚）、マアジ、サバ類の回遊性魚類のほかアワビ、サザエ、ウニ、ヒジキ等の根付資源など豊</p>
--

富な水産資源に恵まれ水産業が発展してきた。

対馬島中央部にあるリアス式海岸では真珠養殖業が行われ、また、平成16年からクロマグロ養殖も盛んとなりブランド化されるなど、全国でも有数の水揚げ量を誇るまで発展し、現在では、主力漁業として確立されている。

対馬全体の令和6年の正組合員数は1,166名で水揚げ量は11,427トン、水揚げ額は約146億円であり、昭和57年のピーク時に比べ水揚げ額は約4割、水揚げ量にあつては約2割まで減少し、その影響により地域経済が衰退しつつある。また、地球温暖化等の複合的要因による海洋環境の悪化、水産資源の減少、魚価安、コスト増、就業者の高齢化や後継者不足に加え、漁船及び漁協施設等の老朽化も伴い、漁業を取り巻く環境は年々厳しさを増し、この状況が慢性化することで漁業経営を維持することが困難となっている。更に、地理的ハンデによる輸送費の負担や漁業用燃油の高騰など生産コストも割高となり経営を圧迫している。

魚類養殖業においては、資源の状況に大きく左右されるクロマグロ天然種苗の確保及び餌料（生餌）の安定的な供給の問題に加え、近年は飼料価格が高騰していることが課題であり、このまま飼料価格が高止まりすると、養殖業だけではなく、あなご籠漁業やブリ縄漁等の経営継続も困難になってくることから、その対策を講じていく必要がある。

また、近年、定置網漁業及び漁船漁業によるクロマグロの混獲が多く見られ、国の示す漁獲上限を遵守するため、場合によっては定置網漁業及び漁船漁業を休業せざるを得ない状況で、かかる事態となれば、本広域浜プランに掲げる取組を通じた浜の機能再編の推進に支障を来すこととなるため、前期からの継続として国の事業を活用し、定置網漁業及び漁船漁業におけるクロマグロ混獲回避に係る対策を講じていく必要がある。

更に、対馬は大型クロマグロの漁獲可能量が少ないことから、近年は、年度の早い段階で漁獲可能量を超え、クロマグロの群れが対馬周辺を回遊していても採捕できない上に、ケンサキイカの漁期にクロマグロの影響でイカの群れが散ったり、イカ漁の道具が切られ、漁ができないため出漁しても途中で漁を止めなければならず、イカ釣り漁業にも大きな影響が出ている。

漁協施設等の老朽化も進み、大量に水揚げされる鮮魚（ヨコワなど）の出荷時には、作業スペースの確保や人員不足、氷不足などにより鮮度の低下を招いている。将来的には各浜の就業者数の減少が予測され、有効的かつ効果的な施設編成が必要となるため、前期からの継続として浜と浜が連携した広域的な施設の集約・再編整備を図ることが求められている。

加えて、配送業者のドライバー不足や長時間労働規制により、漁協の集荷所からの島内の鮮魚輸送について、一部集荷所で配送業者から配送を断られ、他の配送業者に変更するケースが発生しており、今後は、更にドライバー不足が進み、現状の配送体制を維持することが困難になると予想される。

## (2) その他の関連する現状等

令和7年9月末の島内人口は26,571人で、令和2年の国勢調査による就業構造は、第1次産業が18.4%、第2次産業が13.2%、第3次産業が66.7%であり、第1次産業のうち77.2%を水産業が占めている。

60歳以上の組合員の割合は約70%以上と高く、後継者の育成が喫緊の課題であり、前期からの継続として関係機関と連携し、担い手対策を強化していく必要がある。また、九州本土から海路で約138キロ離れた対馬は、鮮魚、活魚、加工品などの島外からの需要があるものの輸送経費などによるコスト高がネックとなり、積極的な事業展開が行えず足踏み状態となっている。

平成30年に年間41万人の韓国人観光客が来島し、経済効果も大きかったものの、その後は社会情勢や新型コロナウイルス感染症拡大により、一時は旅客船が運航停止となり韓国人観光客は激減した。近年は旅客船も再開し回復傾向にあるものの、令和6年で約19万人とピーク時の半分にも満たない状況であり、ピーク時までの回復は困難と考えられることから、日本人観光客をターゲットとして「水産資源」に「観光資源」を付加させ、前期からの継続として基盤となる島内流通体制の確立に向け、官民一体となった取組が求められている。

## 3 競争力強化の取組方針

### (1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

#### ① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

#### ② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

##### 1 島内流通体制の確立

地元水産物の島内流通体制の強化を図るため、市内の商社を核とした島内飲食・宿泊施設及び加工業者等に水産物を配送するシステムや生産者、漁協、市、県、商工及び観光関連団体が連携し、需要者側のニーズに応じた供給システム形態の確立に取り組むとともに、地産地消の推進と国内外の来島者に対する対馬製品のPRを行う。

また、地域と漁協、行政が連携して海業を推進することにより、地産地消の拡大を図り、地元水産物の消費拡大による生産力向上と魚食普及を進め、魅力ある漁村づくりを目指す。

##### 2 漁協施設・漁港施設の広域的な機能再編及び集約化による水産業の競争力強化

各浜で利用している漁協施設（製氷・貯氷施設、荷捌き施設、上架施設等）につい

て、漁業者が効率的かつ効果的に利用できるよう、前期に引き続き各浜の枠を超えた広域的な機能再編や集約化を目的とした整備を行うとともに、漁港管理者において漁港施設を適切に整備しストック効果の最大化を図ることにより、生産コストの抑制や漁業経営の安定化を推進し、水産業の競争力強化を図る。

### 3 効率的な操業体制の確立

意欲のある漁業者が、自身の経営状況の把握及び専門家の指導により経営計画を策定のうえ、当該計画をもとに必要となる最先端機器やIoT等の先進技術を活用した次世代型漁業を推進することにより、グループ間での海況情報の共有や漁具損失等のリスク回避を図り、効率的な操業を推進する。

併せて、前期に取り組んだスマート化について、効果はあったものについては他漁業者への横展開も目指す。

また、定置網漁業及び漁船漁業においてクロマグロの漁獲が見られた際、混獲を回避するための取組を行うことにより、適正な資源管理と定置網漁業及び漁船漁業の操業安定化を図る。

### 4 安定的な供給体制の確立

養殖用の餌料（生餌）となるサバ類等は島外からの搬入によりコストも高く、資源の状況により供給が不安定となるため、漁協及び魚類養殖業者は、行政や全漁連等の関係機関と連携し、餌料（生餌）の確保及び安定供給に向けた取組を行うとともに、漁連や定置網事業者等と連携し、比較的安価な島内の生餌（サバ・イワシ）の確保及び安定供給にも取組、コストの低減を図る。

### 5 磯焼け対策と未利用魚及び低利用魚の活用

対馬市藻場再生計画に基づき、藻場の回復に向け地域と大学、行政が連携し、藻場の保全、藻場の再生、モニタリング、磯焼けの原因究明、情報発信・共有、人材育成・確保の6項目を柱に取り組みとともに、藻場再生作業部会においてPDCAサイクル手法を用い、効率・効果を高めていく。

また、磯焼け対策で捕獲した植食性魚類のイスズミ・アイゴ等は、前期中に取り組んだ鮮度管理の徹底と磯臭さを消す独特なさばき方での加工により持続的に食用として活用できるよう、引き続き取り組む。

### 6 島内の鮮魚配送対策

配送業者のドライバー不足や長時間労働規制により、今後、各集荷所からの島内の鮮魚輸送が困難になることが予想されることから、輸送ルートの重複する漁協において、保冷車の共同運用により配送するなどの検討を行い、安定的な輸送手段の確保や輸送コストの削減を目指す。

### 7 漁船廃船処理対策

漁業就業者の高齢化等の影響により廃業や事業規模縮小に伴い、漁船の廃船が増加しており、今後も更に増加が見込まれることから、県や市と連携して漁船廃船処理対策についての検討を行う。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

<p>持続的に漁業生産を担う人材の確保・育成を進めるため、新規漁業就業者の確保・育成を進めるとともに、将来の浜のリーダーとなる中核的担い手の育成を積極的に進める。</p> <p><b>1 新規漁業就業者の確保・育成</b></p> <p>中核的漁業者を核として、行政機関や漁協及び漁業関係団体と連携のうえ、新規学卒者やU I ターン者などを対象とした就業説明会を島内外で開催し、新規就業者の確保を図るとともに、希望する新規就業者へ漁業就業実践研修制度により技能習得に係る支援を行う。</p> <p>また、新規就業者の定着を図るため、漁業就業実践研修生に対して漁業経営の基礎を学ぶ講座の開催や独立時の漁船リース等に対する支援、漁業者間の交流会を開催することで定着しやすい環境を整備する。</p> <p><b>2 中核的担い手の育成</b></p> <p>各浜の漁業者を牽引していくリーダーの育成が重要であり、その一躍を担う意欲ある漁業者を中核的漁業者として認定し、生産力の向上や競争力強化に向けた漁船・機器等の導入について国の事業を活用することで、将来を担うリーダーとして定着を目指す。</p>
--

(3) 資源管理に係る取組

<p><b>1 操業隻数、期間等の規制遵守による資源に与える負荷の抑制</b></p> <p>漁業法、長崎県漁業調整規則に基づく各種漁業許可の制限措置及び条件や対馬海区漁業調整委員会指示に基づく漁具、漁法の制限等を遵守することにより、水産資源の管理と持続可能な利用を推進する。</p> <p><b>2 T A C制度における適切な資源管理の実施による資源の維持・回復（クロマグロ、スルメイカ等）</b></p> <p><b>3 資源管理協定に基づく自主的資源管理措置の実施による資源保護</b></p> <p>長崎県知事が認定した長崎県対馬地区における資源管理協定に基づく自主的な資源管理措置を履行することにより、資源の持続的な維持・増大に取り組む。</p> <p>（長崎県対馬地区における厳原町漁業協同組合の資源管理協定 ほか41協定）</p> <p><b>4 共同漁業権行使規則に基づく制限の徹底による資源保護</b></p> <p><b>5 各漁港等において、クエ、カサゴ等の放流による水産資源の維持・増大</b></p>
--

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和8年度）

取組内容	<p><b>1 機能再編・地域活性化関連</b></p> <p><b>(1) 島内流通体制の確立</b></p> <p>実態調査により把握した島内店舗等の需要（必要な魚種、数量等）等をもとに、島内での供給体制の核となる一般財団法人対馬地域商社が主体となり、生産者側と需要者側（加工業者、飲食店、宿泊施設等）をマッチングするシステム（受注・発注）の運営体制について検討し、試験運用を行う。</p> <p>また、流通体制の仕組みを消費者へ広めるため、対馬産のブランド魚を地域で消費することのできるイベントを島内外で開催する。</p> <p>更に、現在、上対馬地区で進めている海業について、当地域（上対馬地区海業推進協議会）と漁協、行政が連携して地域が儲かる海業の体制づくりや設備の整備等を進める。</p> <p><b>(2) 漁協施設・漁港施設の広域的な機能再編及び集約化による水産業の競争力強化</b></p> <p>漁業共同利用施設及び漁港施設の広域的な機能再編、集約化、ストック効果の最大化について引き続き検討のうえ計画に基づき、関係漁協と連携のうえ順次、施設整備を実施する。</p> <p>なお、当年度に行う施設整備は以下のとおり。</p> <p>① 上対馬町泉地区ほか（上対馬町漁協ほか）</p> <p>県は当該地区（泉地区・伊奈地区）において、水銀灯又はナトリウム灯をLED化することにより、突然消灯することがなく、照度が低下してきた段階での取替えが可能となることから、照明がない状況での非効率な作業が改善されることに加え、漁船上での作業時における海中転落等の事故をなくし、安全性の向上を図る。</p> <p>また、小鹿地区において、車両の海中転落事故を防止するため、岸壁及び物揚場に車止めを整備し、漁港利用者の安全を確保する。</p> <p>② 美津島町三浦湾地区ほか（美津島町漁協ほか）</p> <p>県は当該地区（佐賀地区・三浦湾地区）において、水銀灯又はナトリウム灯をLED化することにより、突然消灯することがなく、照度が低下してきた段階での取替えが可能となることから、照明がない状況での非効率な作業が改善されることに加え、漁船上での作業時における海中転落等の事故をなくし、安全性の向上を図る。</p> <p>③ 巖原町豆敷地区ほか（巖原町漁協ほか）</p> <p>県は当該地区（豆敷地区・久根浜地区・阿須湾地区）において、水銀灯又はナトリウム灯をLED化することにより、突然消灯することがなく、照度が低下してきた段階での取替えが可能となること</p>
------	--

から、照明がない状況での非効率な作業が改善されることに加え、漁船上での作業時における海中転落等の事故をなくし、安全性の向上を図る。

### (3) 効率的な操業体制の確立

意欲のある漁業者が国・県等の事業を活用し、経営計画を策定のうえ当該計画をもとに必要となる最先端機器やIoT等の先進技術を活用した次世代型漁業を推進することにより、グループ間での海況情報の共有や漁具損失等のリスク回避を図り、効率的な操業を推進する。

また、既に導入されているスマート漁業の他漁業者への横展開も目指す。

定置網漁業及び漁船漁業においてクロマグロの漁獲が見られた際、混獲を回避するための取組を行うことにより、適正な資源管理と定置網漁業及び漁船漁業の操業安定化を図る。

### (4) 安定的な供給体制の確立

美津島町西海漁協及び美津島町漁協並びに魚類養殖業者は、関係機関と連携し、島外からの餌料（生餌）の確保及び安定供給に向けた取組を行い、コストの低減を図る。また、漁連や定置網事業者等と連携し、比較的安価な島内の生餌（サバ・イワシ）の確保に向け情報交換を行い、安定した供給体制の構築も目指す。

### (5) 磯焼け対策と未利用魚及び低利用魚の活用

対馬市藻場再生計画に基づき、藻場の回復に向け地域と大学、行政が連携し、計画に定める6項目を柱に取り組みとともに、藻場再生作業部会においてPDCAサイクル手法を用い、効率・効果を高めていく。

また、磯焼け対策で捕獲した植食性魚類のイスズミ・アイゴ等を持続的に食用として活用できるよう、「食べる磯焼け対策」に協力する水産加工業者の拡大を目指す。

### (6) 島内の鮮魚配送対策

配送業者のドライバー不足や長時間労働規制により、今後、各集荷所からの島内の鮮魚輸送が困難になることが予想されることから、安定的な鮮魚の配送対策について協議を行う。

### (7) 漁船廃船処理対策

漁業就業者の高齢化等の影響により廃業や事業規模縮小に伴い、漁船の廃船が増加しており、今後も更に増加が見込まれることから、県及び市と連携して各漁港等の廃船放置船の状況調査を実施するとともに、漁船廃船処理対策についての協議を行う。

## 2 中核的担い手の育成関連

### (1) 新規漁業就業者の確保・育成

	<p>中核的漁業者を核として、行政機関や漁協及び漁業関係団体と連携のうえ、新規学卒者やU I ターン者などを対象とした就業説明会を島内外で開催し、新規就業者の確保を図るとともに、希望する新規就業者へ漁業就業実践研修制度により技能習得に係る支援を行う。</p> <p>また、新規就業者の定着を図るため、漁業就業実践研修生に対して漁業経営の基礎を学ぶ講座の開催や独立時の漁船リース等に対する支援、漁業者間の交流会を開催することで定着しやすい環境を整備する。</p> <p><b>(2) 中核的担い手の育成</b></p> <p>各浜の漁業者を牽引していくリーダーの育成が重要であり、その一躍を担う意欲ある漁業者を中核的漁業者として認定し、生産力の向上や競争力強化に向けた漁船・機器等の導入について国の事業を活用することで、将来を担うリーダーとして定着を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(養殖用生餌供給安定対策支援) (国)</li> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(クロマグロ混獲回避活動支援) (国)</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化金融支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁港機能増進事業 (国)</li> <li>・ 水産基盤整備事業等 (国)</li> <li>・ 水産業強化支援事業 (国)</li> <li>・ 離島漁業再生支援交付金 (国)</li> <li>・ 特定有人国境離島漁村支援交付金 (国)</li> <li>・ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金 (国)</li> <li>・ 離島活性化交付金 (国)</li> <li>・ 新たにチャレンジ水産経営応援事業事業 (県)</li> <li>・ 漁業と漁村を支える人づくり事業 (県)</li> <li>・ 漁業あととり育成事業 (市)</li> <li>・ 新規就業者定着促進事業 (市)</li> </ul>

2年目 (令和9年度)

<p>取組内容</p>	<p><b>1 機能再編・地域活性化関連</b></p> <p><b>(1) 島内流通体制の確立</b></p> <p>島内での供給体制の核となる一般財団法人対馬地域商社が主体となり、生産者側と需要者側(加工業者、飲食店、宿泊施設等)をマッチングするシステム(受注・発注)の試験運用をしつつ、流通拡大を図る。</p> <p>また、流通体制の仕組みを消費者へ広めるため、対馬産のブランド魚</p>
-------------	---

を地域で消費することのできるイベントを島内外で開催する。

更に、現在、上対馬地区で進めている海業の推進について、当地域（上対馬地区海業推進協議会）と漁協、行政が連携して地域が儲かる海業の体制づくりや設備整備等を進める。

#### **(2) 漁協施設・漁港施設の広域的な機能再編及び集約化による水産業の競争力強化**

漁業共同利用施設及び漁港施設の広域的な機能再編、集約化、ストック効果の最大化について引き続き検討のうえ計画化する。

#### **(3) 効率的な操業体制の確立**

意欲のある漁業者が国・県等の事業を活用し、経営計画を策定のうえ当該計画をもとに必要となる最先端機器やIoT等の先進技術を活用した次世代型漁業を推進することにより、グループ間での海況情報の共有や漁具損失等のリスク回避を図り、効率的な操業を推進する。

また、既に導入されているスマート漁業の他漁業者への横展開も目指す。

定置網漁業及び漁船漁業においてクロマグロの漁獲が見られた際、混獲を回避するための取組を行うことにより、適正な資源管理と定置網漁業及び漁船漁業の操業安定化を図る。

#### **(4) 安定的な供給体制の確立**

美津島町西海漁協及び美津島町漁協並びに魚類養殖業者は、関係機関と連携し、島外からの餌料（生餌）の確保及び安定供給に向けた取組を行い、コストの低減を図る。また、漁連や定置網事業者等と連携し、比較的安価な島内の生餌（サバ・イワシ）の確保及び安定供給に向けた協議を行う。

#### **(5) 磯焼け対策と未利用魚及び低利用魚の活用**

対馬市藻場再生計画に基づき、藻場の回復に向け地域と大学、行政が連携し、計画に定める6項目を柱に取り組みとともに、藻場再生作業部会においてPDCAサイクル手法を用い、効率・効果を高めていく。

また、磯焼け対策で捕獲した植食性魚類のイスズミ・アイゴ等を持続的に食用として活用できるよう、「食べる磯焼け対策」に協力する水産加工業者の拡大を目指す。

#### **(6) 島内の鮮魚配送対策**

配送業者のドライバー不足や長時間労働規制により、今後、各集荷所からの島内の鮮魚輸送が困難になることが予想されることから、安定的な鮮魚の配送対策について協議を行う。

#### **(7) 漁船廃船処理対策**

漁業就業者の高齢化等の影響により廃業や事業規模縮小に伴い、漁船の廃船が増加しており、今後も更に増加が見込まれることから、県や市

	<p>と連携して漁船廃船処理対策についての協議を行う。</p> <p><b>2 中核的担い手の育成関連</b></p> <p><b>(1) 新規漁業就業者の確保・育成</b></p> <p>中核的漁業者を核として、行政機関や漁協及び漁業関係団体と連携のうえ、新規学卒者やU I ターン者などを対象とした就業説明会を島内外で開催し、新規就業者の確保を図るとともに、希望する新規就業者へ漁業就業実践研修制度により技能習得に係る支援を行う。</p> <p>また、新規就業者の定着を図るため、漁業就業実践研修生に対して漁業経営の基礎を学ぶ講座の開催や独立時の漁船リース等に対する支援、漁業者間の交流会を開催することで定着しやすい環境を整備する。</p> <p><b>(2) 中核的担い手の育成</b></p> <p>各浜の漁業者を牽引していくリーダーの育成が重要であり、その一躍を担う意欲ある漁業者を中核的漁業者として認定し、生産力の向上や競争力強化に向けた漁船・機器等の導入について国の事業を活用することで、将来を担うリーダーとして定着を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(養殖用生餌供給安定対策支援) (国)</li> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(クロマグロ混獲回避活動支援) (国)</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化金融支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁港機能増進事業 (国)</li> <li>・ 水産基盤整備事業等 (国)</li> <li>・ 水産業強化支援事業 (国)</li> <li>・ 離島漁業再生支援交付金 (国)</li> <li>・ 特定有人国境離島漁村支援交付金 (国)</li> <li>・ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金 (国)</li> <li>・ 離島活性化交付金 (国)</li> <li>・ 新たにチャレンジ水産経営応援事業 (県)</li> <li>・ 漁業と漁村を支える人づくり事業 (県)</li> <li>・ 漁業あとり育成事業 (市)</li> <li>・ 新規就業者定着促進事業 (市)</li> </ul>

3年目 (令和10年度)

取組内容	<b>1 機能再編・地域活性化関連</b>
------	-----------------------

### (1) 島内流通体制の確立

実証運用のフォローアップとして需要者側へのアンケート調査等を実施し、課題等の整理を行い、運用拡大を図る。

また、流通体制の仕組みを消費者へ広めるため、対馬産のブランド魚を地域で消費することのできるイベントを島内外で開催する。

加えて、地域と漁協、行政が連携して上対馬地区海業推進協議会の更なる発展を進めるとともに、他地域での海業の推進も図り、地元水産物の消費拡大による生産力向上と魚食普及を進める。

### (2) 漁協施設・漁港施設の広域的な機能再編及び集約化による水産業の競争力強化

各浜の漁業共同利用施設や漁港施設の利用状況や経過年数等の把握を行い、各浜の枠を超えた広域的な機能再編や集約化について検討するとともに、漁港管理者において漁港施設を適切に整備しストック効果の最大化を図ることにより、生産コストの抑制や漁業経営の安定化を推進し、水産業の競争力強化を図る。

### (3) 効率的な操業体制の確立

意欲のある漁業者が国・県等の事業を活用し、経営計画を策定のうね当該計画をもとに必要となる最先端機器やIoT等の先進技術を活用した次世代型漁業を推進することにより、グループ間での海況情報の共有や漁具損失等のリスク回避を図り、効率的な操業を推進する。

また、既に導入されているスマート漁業の他漁業者への横展開も目指す。

定置網漁業及び漁船漁業においてクロマグロの漁獲が見られた際、混獲を回避するための取組を行うことにより、適正な資源管理と定置網漁業及び漁船漁業の操業安定化を図る。

### (4) 安定的な供給体制の確立

美津島町西海漁協及び美津島町漁協並びに魚類養殖業者は、関係機関と連携し、島外からの餌料（生餌）の確保及び安定供給に向けた取組を行い、コストの低減を図る。また、漁連や定置網事業者等と連携し、比較的安価な島内の生餌（サバ・イワシ）の確保及び安定供給に向けた協議を行う。

### (5) 磯焼け対策と未利用魚及び低利用魚の活用

対馬市藻場再生計画に基づき、藻場の回復に向け地域と大学、行政が連携し、計画に定める6項目を柱に取り組みとともに、藻場再生作業部会においてPDCAサイクル手法を用い、効率・効果を高めていく。

また、磯焼け対策で捕獲した植食性魚類のイスズミ・アイゴ等を持続的に食用として活用できるよう、「食べる磯焼け対策」に協力する水産加工業者の拡大を目指す。

	<p><b>(6) 島内の鮮魚配送対策</b></p> <p>配送業者のドライバー不足や長時間労働規制により、今後、各集荷所からの島内の鮮魚輸送が困難になることが予想されることから、安定的な鮮魚の配送対策について協議を行う。</p> <p><b>(7) 漁船廃船処理対策</b></p> <p>漁業就業者の高齢化等の影響により廃業や事業規模縮小に伴い、漁船の廃船が増加しており、今後も更に増加が見込まれることから、県や市と連携して漁船廃船処理対策についての協議を行う。</p> <p><b>2 中核的担い手の育成関連</b></p> <p><b>(1) 新規漁業就業者の確保・育成</b></p> <p>中核的漁業者を核として、行政機関や漁協及び漁業関係団体と連携のうえ、新規学卒者やUターン者などを対象とした就業説明会を島内外で開催し、新規就業者の確保を図るとともに、希望する新規就業者へ漁業就業実践研修制度により技能習得に係る支援を行う。</p> <p>また、新規就業者の定着を図るため、漁業就業実践研修生に対して漁業経営の基礎を学ぶ講座の開催や独立時の漁船リース等に対する支援、漁業者間の交流会を開催することで定着しやすい環境を整備する。</p> <p><b>(2) 中核的担い手の育成</b></p> <p>各浜の漁業者を牽引していくリーダーの育成が重要であり、その一躍を担う意欲ある漁業者を中核的漁業者として認定し、生産力の向上や競争力強化に向けた漁船・機器等の導入について国の事業を活用することで、将来を担うリーダーとして定着を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(養殖用生餌供給安定対策支援) (国)</li> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(クロマグロ混獲回避活動支援) (国)</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化金融支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁港機能増進事業 (国)</li> <li>・ 水産基盤整備事業等 (国)</li> <li>・ 水産業強化支援事業 (国)</li> <li>・ 離島漁業再生支援交付金 (国)</li> <li>・ 特定有人国境離島漁村支援交付金 (国)</li> <li>・ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金 (国)</li> <li>・ 離島活性化交付金 (国)</li> <li>・ 新たにチャレンジ水産経営応援事業 (県)</li> <li>・ 漁業と漁村を支える人づくり事業 (県)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業あととり育成事業（市）</li> <li>・新規就業者定着促進事業（市）</li> </ul>
--	---

4年目（令和11年度）

取組内容	<p><b>1 機能再編・地域活性化関連</b></p> <p><b>(1) 島内流通体制の確立</b></p> <p>試験運用及びフォローアップの結果をもとに、マッチングシステムの本格稼働を行う。</p> <p>また、流通体制の仕組みを消費者へ広めるため、対馬産のブランド魚を地域で消費することのできるイベントを島内外で開催する。</p> <p>加えて、地域と漁協、行政が連携して上対馬地区海業推進協議会の更なる発展を進めるとともに、他地域での海業の推進も図り、地元水産物の消費拡大による生産力向上と魚食普及を進める。</p> <p><b>(2) 漁協施設・漁港施設の広域的な機能再編及び集約化による水産業の競争力強化</b></p> <p>各浜の漁業共同利用施設や漁港施設の利用状況や経過年数等の把握を行い、各浜の枠を超えた広域的な機能再編や集約化について検討するとともに、漁港管理者において漁港施設を適切に整備しストック効果の最大化を図ることにより、生産コストの抑制や漁業経営の安定化を推進し、水産業の競争力強化を図る。</p> <p><b>(3) 効率的な操業体制の確立</b></p> <p>意欲のある漁業者が国・県等の事業を活用し、経営計画を策定のうえ当該計画をもとに必要となる最先端機器やIoT等の先進技術を活用した次世代型漁業を推進することにより、グループ間での海況情報の共有や漁具損失等のリスク回避を図り、効率的な操業を推進する。</p> <p>また、既に導入されているスマート漁業の他漁業者への横展開も目指す。</p> <p>定置網漁業及び漁船漁業においてクロマグロの漁獲が見られた際、混獲を回避するための取組を行うことにより、適正な資源管理と定置網漁業及び漁船漁業の操業安定化を図る。</p> <p><b>(4) 安定的な供給体制の確立</b></p> <p>美津島町西海漁協及び美津島町漁協並びに魚類養殖業者は、関係機関と連携し、島外からの餌料（生餌）の確保及び安定供給に向けた取組を行うとともに、漁連や定置網事業者等と連携し、比較的安価な島内の生餌（サバ・イワシ）の確保及び安定供給に向けた取組を行い、コストの低減を図る。</p> <p><b>(5) 磯焼け対策と未利用魚及び低利用魚の活用</b></p>
------	--

	<p>対馬市藻場再生計画に基づき、藻場の回復に向け地域と大学、行政が連携し、計画に定める6項目を柱に取り組みとともに、藻場再生作業部会においてP D C Aサイクル手法を用い、効率・効果を高めていく。</p> <p>また、磯焼け対策で捕獲した植食性魚類のイスズミ・アイゴ等を持続的に食用として活用できるよう、「食べる磯焼け対策」に協力する水産加工業者の拡大を目指す。</p> <p><b>(6) 島内の鮮魚配送対策</b></p> <p>配送業者のドライバー不足や長時間労働規制により、今後、各集荷所からの島内の鮮魚輸送が困難になることが予想されることから、安定的な鮮魚の配送対策について協議を行う。</p> <p><b>(7) 漁船廃船処理対策</b></p> <p>漁業就業者の高齢化等の影響により廃業や事業規模縮小に伴い、漁船の廃船が増加しており、今後も更に増加が見込まれることから、県や市と連携して漁船廃船処理対策についての協議を行う。</p> <p><b>2 中核的担い手の育成関連</b></p> <p><b>(1) 新規漁業就業者の確保・育成</b></p> <p>中核的漁業者を核として、行政機関や漁協及び漁業関係団体と連携のうえ、新規学卒者やU I ターン者などを対象とした就業説明会を島内外で開催し、新規就業者の確保を図るとともに、希望する新規就業者へ漁業就業実践研修制度により技能習得に係る支援を行う。</p> <p>また、新規就業者の定着を図るため、漁業就業実践研修生に対して漁業経営の基礎を学ぶ講座の開催や独立時の漁船リース等に対する支援、漁業者間の交流会を開催することで定着しやすい環境を整備する。</p> <p><b>(2) 中核的担い手の育成</b></p> <p>各浜の漁業者を牽引していくリーダーの育成が重要であり、その一躍を担う意欲ある漁業者を中核的漁業者として認定し、生産力の向上や競争力強化に向けた漁船・機器等の導入について国の事業を活用することで、将来を担うリーダーとして定着を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(養殖用生餌供給安定対策支援) (国)</li> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(クロマグロ混獲回避活動支援) (国)</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化金融支援事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業 (国)</li> <li>・ 水産業競争力強化漁港機能増進事業 (国)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産基盤整備事業等（国）</li> <li>・水産業強化支援事業（国）</li> <li>・離島漁業再生支援交付金（国）</li> <li>・特定有人国境離島漁村支援交付金（国）</li> <li>・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金（国）</li> <li>・離島活性化交付金（国）</li> <li>・新たにチャレンジ水産経営応援事業（県）</li> <li>・漁業と漁村を支える人づくり事業（県）</li> <li>・漁業あとり育成事業（市）</li> <li>・新規就業者定着促進事業（市）</li> </ul>
--	--

5年目（令和12年度）

取組内容	<p><b>1 機能再編・地域活性化関連</b></p> <p><b>(1) 島内流通体制の確立</b></p> <p>マッチングシステムの本格稼働を継続するとともに、流通体制の仕組みを消費者へ広めるため、対馬産のブランド魚を地域で消費することのできるイベントを島内外で開催する。</p> <p>また、地域と漁協、行政が連携して上対馬地区海業推進協議会の更なる発展を進めるとともに、他地域での海業の推進も図り、地元水産物の消費拡大による生産力向上と魚食普及を進める。</p> <p><b>(2) 漁協施設・漁港施設の広域的な機能再編及び集約化による水産業の競争力強化</b></p> <p>漁業共同利用施設及び漁港施設の広域的な機能再編や集約化に係る計画に基づき、関係漁協と連携のうえ順次、施設整備を実施する。</p> <p><b>(3) 効率的な操業体制の確立</b></p> <p>意欲のある漁業者が国・県等の事業を活用し、経営計画を策定のうえ当該計画をもとに必要となる最先端機器やIoT等の先進技術を活用した次世代型漁業を推進することにより、グループ間での海況情報の共有や漁具損失等のリスク回避を図り、効率的な操業を推進する。</p> <p>また、既に導入されているスマート漁業の他漁業者への横展開も目指す。</p> <p>定置網漁業及び漁船漁業においてクロマグロの漁獲が見られた際、混獲を回避するための取組を行うことにより、適正な資源管理と定置網漁業及び漁船漁業の操業安定化を図る。</p> <p><b>(4) 安定的な供給体制の確立</b></p> <p>美津島町西海漁協及び美津島町漁協並びに魚類養殖業者は、関係機</p>
------	---

	<p>関と連携し、島外からの餌料（生餌）の確保及び安定供給に向けた取組を行うとともに、漁連や定置網事業者等と連携し、比較的安価な島内の生餌（サバ・イワシ）の確保及び安定供給に向けた取組を行い、コストの低減を図る。</p> <p><b>(5) 磯焼け対策と未利用魚及び低利用魚の活用</b></p> <p>対馬市藻場再生計画に基づき、藻場の回復に向け地域と大学、行政が連携し、計画に定める6項目を柱に取り組みとともに、藻場再生作業部会においてP D C Aサイクル手法を用い、効率・効果を高めていく。</p> <p>また、磯焼け対策で捕獲した植食性魚類のイスズミ・アイゴ等を持続的に食用として活用できるよう、「食べる磯焼け対策」に協力する水産加工業者の拡大を目指す。</p> <p><b>(6) 島内の鮮魚配送対策</b></p> <p>配送業者のドライバー不足や長時間労働規制により、今後、各集荷所からの島内の鮮魚輸送が困難になることが予想されることから、安定的な鮮魚の配送対策について協議を行う。</p> <p><b>(7) 漁船廃船処理対策</b></p> <p>漁業就業者の高齢化等の影響により廃業や事業規模縮小に伴い、漁船の廃船が増加しており、今後も更に増加が見込まれることから、県や市と連携して漁船廃船処理対策についての協議を行う。</p> <p><b>2 中核的担い手の育成関連</b></p> <p><b>(1) 新規漁業就業者の確保・育成</b></p> <p>中核的漁業者を核として、行政機関や漁協及び漁業関係団体と連携のうえ、新規学卒者やU Iターン者などを対象とした就業説明会を島内外で開催し、新規就業者の確保を図るとともに、希望する新規就業者へ漁業就業実践研修制度により技能習得に係る支援を行う。</p> <p>また、新規就業者の定着を図るため、漁業就業実践研修生に対して漁業経営の基礎を学ぶ講座の開催や独立時の漁船リース等に対する支援、漁業者間の交流会を開催することで定着しやすい環境を整備する。</p> <p><b>(2) 中核的担い手の育成</b></p> <p>各浜の漁業者を牽引していくリーダーの育成が重要であり、その一躍を担う意欲ある漁業者を中核的漁業者として認定し、生産力の向上や競争力強化に向けた漁船・機器等の導入について国の事業を活用することで、将来を担うリーダーとして定着を目指す。</p>
活用する支援措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(養殖用生餌供給安定対策支援) (国)</li> <li>・ 広域浜プラン緊急対策事業(クロマグロ混獲回避活動支援) (国)</li> </ul>

等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化金融支援事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化漁港機能増進事業（国）</li> <li>・水産基盤整備事業等（国）</li> <li>・水産業強化支援事業（国）</li> <li>・離島漁業再生支援交付金（国）</li> <li>・特定有人国境離島漁村支援交付金（国）</li> <li>・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金（国）</li> <li>・離島活性化交付金（国）</li> <li>・新たにチャレンジ水産経営応援事業（県）</li> <li>・漁業と漁村を支える人づくり事業（県）</li> <li>・漁業あととり育成事業（市）</li> <li>・新規就業者定着促進事業（市）</li> </ul>
---	--

(5) 関係機関との連携

流通関係の専門機関（県漁連、コンサル等）との連携により、受発注のシステム化や水産物の配送及び供給体制の整備を図る。

(6) 他産業との連携

島内流通体制の確立に関しては、島内の飲食店や宿泊施設等で構成される団体、行政関係課との連携を強化し、実際の運用に向けた体制づくりを行うとともに、観光関連会社とタイアップしたイベント等を実施する。

4 成果目標

(1) 成果目標の考え方

**1 機能再編・地域活性化の取組関係**  
 コロナ以降、島内での水産物活用が大幅に落ち込んだことから、回復を図るため、島内流通体制の確立による水産物の島内流通量の増加を成果目標とする。

**2 中核的担い手の育成の取組関係**  
 漁業従事者の75%が60歳以上であり、各浜維持・活性化するには新規就業者を確保することが必須である。また、将来の中核的担い手を育成していくためにも新規就業者を確保する必要があることから、漁業就業実践研修事業及び漁業あととり育成事業における新規漁業就業者数を成果目標とする。

(2) 成果目標

① 機能再編・地域活性化の取組に係る成果目標

水産物の島内流通量	基準年	令和2年度～令和6年度 平均：351.3（トン）
	目標年	令和12年度：400.0（トン）

② 中核的担い手の育成の取組に係る成果目標

漁業就業実践研修等の修了生の新規漁業就業者数	基準年	令和4年度～令和6年度 合計：33（人）
	目標年	令和8年度～令和12年度 合計：35（人/年）

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

<p><b>1 水産物の島内流通量</b></p> <p>基準値：対馬市の直近3か年平均の水産物の島内流通量（令和4年度～令和6年度）</p> <p>目標値：島内の小売業者、宿泊施設、飲食店、加工業者に対する水産物の流通量確保を図り、基準年比で10%以上の増加を目指す。</p> <p><b>2 漁業就業実践研修等の修了生の新規漁業就業者数</b></p> <p>基準値：対馬市の直近3か年平均の漁業就業実践研修等における新規漁業就業者数（令和4年度～令和6年度）</p> <p>目標値：過去3か年の漁業就業実践研修等における新規漁業就業者数以上の増加を目指す。</p>
---

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン緊急対策事業（養殖用生餌供給安定対策支援）（国）	従来活用できない時期や地域、魚種の水揚げを養殖用生餌として調達し、安定した餌料（生餌）の確保を支援する。
広域浜プラン緊急対策事業（クロマグロ混獲回避活動支援）（国）	定置網漁業及び漁船漁業の安定的操業を図るため、ヨコワの混獲回避活動を支援する。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	意欲ある漁業者が生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入に対して支援する。
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	中核的漁業者に対する漁船リースを支援する。
水産業競争力強化金融支援事業（国）	水産業競争力強化事業で漁船の建造・取得・改修、漁業用機器等の導入を図る漁業者等が借り入れる資金について円滑な融資が可能となるよう支援する。

水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）	競争力強化のために必要となる施設の整備や産地市場の統廃合等を推進するために必要な施設の整備等に対して支援する。
水産業競争力強化漁港機能増進事業（国）	漁業者の就労環境の改善、漁港利用者の安全性の向上に繋がる施設を整備し、漁村の活力を高めていく。
水産基盤整備事業等（国）（水産生産基盤整備事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港施設機能強化事業、農山漁村地域整備交付金、海岸保全施設整備事業、漁業集落環境整備事業、港整備交付金事業、漁港機能増進事業、浜の活力再生・成長促進交付金）	漁港の機能を増進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要となる漁港施設や漁港ストックの利用適正化及び有効活用促進のために必要となる施設整備等に対して支援する。
特定有人国境離島漁村支援交付金（国）	漁業の起業及び事業拡大を行う者に対して、漁船リースや機器整備及び経費等を支援する。
水産業強化支援事業（国）	漁業共同利用施設（製氷・貯氷施設、荷捌き施設、上架施設等）の整備に対して支援する。
離島漁業再生支援交付金（国）	資源管理・回復に向けた漁場の生産力向上及び漁業の再生に関する実践的な取組並びに新規就業者に対する漁船リースを支援する。
特定有人国境離島地域社会維持推進交付金（国）	対馬から本土間の水産物の移出及び餌料の移入に係る輸送費を支援する。
離島活性化交付金（国）	対馬から本土間の水産加工品の移出及び原料の移入に係る海上輸送費を支援する。
新たにチャレンジ水産経営応援事業（県）	漁村地域の核となる漁業者と漁協等の経営力を強化し、漁村地域の活性化を図るため、漁業者の経営力強化（所得向上）、また、漁協の脱炭素化や省人・省力化につながる取組や合併による販売事業・指導事業の強化を図る取組などに必要となる機器導入・施設整備に要する費用について、支援する。
漁業と漁村を支える人づくり事業（県）	新規就業者の確保を図るため、漁業研修期間中の研修費等の支援を行う。

漁業あととり育成事業 (市)	漁業者のあととりの育成と定着促進を図るため、島内の漁家子弟を対象に、漁業研修期間中の生活費の支援を行う。
新規就業者定着促進事業 (市)	漁業就業実践研修事業の修了生に対し、漁業経営開始に必要な漁具整備の支援を行う。